

常磐每日新聞

定額 一部金一圓 二部金一圓二角
廣告料 五部以上 二部金一圓五角 五部以上 二部金一圓八角
日曜祭日の翌日休刊
発行所 常磐毎日新聞社 電話 六三三〇番
印刷所 常磐毎日印刷株式会社 電話 六三三〇番

コドモの創作

粒来みどり

春が来た 春が来た
櫻は笑ひ 蝶は舞ふ
みれたんぼ、目をさまし
小鳥がチ、ないてゐる
英子は一心に自由詩を書
いてゐたが、いら／＼してど
うしてもうまく出来ない。
おえんのぞうきんがけをし
てゐる姉の陽子に向つて、
『お姉さん、これでい、う？』
陽子『まつてよ。これがす
んだら見て上げるわよ』
英子はつまらなさうにも
う一度書きかけの詩をよん
で見た。其の時ガタント扉
を叩いて大きな聲で『只今』
といつて父の作造が工場か
ら来たのでした。英子はす
ぐ立ち上つて『お父様お歸
りなさい』とお出迎ひをし
ました。お父様は『英子や
ん又宿題かい、六年は大變
だね、しつかり勉強しな
さい』と言つて英子の頭を
なでました。姉の陽子は雑
巾をしぼりながら『お父様
お歸り、お夕はんの仕事が
おくれたわ、英ちゃんお父
さまのお服を出してね』と
云つて臺所の方へ行しまし
た。

ちやん御飯よ』と呼ぶ。

三人はおせんに向つたが
英子は姉のあれた血のじ
んだ手を見て、急に
英子『あ、姉さん、あのね
美恵子ちゃんかね、霜焼に
い、薬が家にあるから、ゐ
るなら上げるつてよ』
陽子『さう、美恵子ちゃん
本當に親切ね、やつぱり級
長してゐるだけあるわよ』
と二人は笑ひながらお話
をしてゐるとお父さまも一
しよにお笑ひになつてゐる
が何だか淋びしさうでした
英子『あ、お父様、今度の
土曜日は遠足よ、お友達は
みんなお母様と一しよなの
で』
お父さまはもう晝のつか
れでグウ／＼といきを立て
ゝねむつてしまはれました
お星はさら／＼と淋しく光
つてゐました。

あつたよ、英子が三つの時
は前達二人を便りにして

【朝】ジャムトースト 牛
乳 果實
【晝】煮付 なまり節
小皿 さやらぶき
【晩】筍御飯 あんかけ玉
子 豆腐 甘辛煮
さくら海老

よ、私一人ぼつちよ、お姉
さん一しよに来てね、私お
母様がほしいわよ、お父様
!!!
父『お前達のお母様は喜久
子と言つてやさしいお母様
だったよ、英子が三つの時
は前達二人を便りにして

あつたよ、英子が三つの時
は前達二人を便りにして

春の...

春のオーバ
春のセビロ
御用命を！



平町四 正札堂 洋服店
電話四三番

耳鼻科専門

大和田醫院
平町南町一六（電話一七〇番）

社員採用

固定給參拾圓外手當支給
二十才以上五十五才迄
希望者は履歴書持參本人來談
平町銀治町十八

日本商事株式平支部

債券 債券 現物買付 擔保買付

一 齒科一般 保存科補綴科 繼續架
工科 齒列矯正科 小兒齒科 齒槽膿漏科
一口腔外科 レントゲン科

中野齒科醫院

院長 日本齒科醫學士 中野 惠次
日本齒科醫學士 西川 誠
平町田町（松月堂向と）
電話 五〇九番

看護婦至急募集す

皆様の足
尼子タクシーへも豆タクが入
りました
御支關から支關へ 迅速簡便
是非御利用を
市内 三〇錢
市外 四割引

流行型セダン
大型貸切バス
宮行 直通は二丁目尼子自動車部よ
り發車いたします
平町二丁目
尼子自動車商會
電話 六四〇番

高久病院

院長 醫學士 高久 忠
副院長 新潟醫學士 赤羽 清
藥局長 藥劑師 佐竹 菊雄
内科小兒科 平町田町 電話 五二三番
耳鼻喉科 外科花柳病科
レントゲン科

花の春！

春は麗か花盛り
行きませう...
花の野へ!! 山へ!!!
カメラを持つて
皆んなで楽しく朗かに!!!
そして記念の撮影を!
暗室不要 國產カメラの代表品

東郷製マイコーカメラ

MSカメラの新型も澤山入荷しました
MSカメラ特約店 いづみや玩具店
平町前

笑ふもあれば

泣くもある

入賞赤チャン

賑々しく和やかな授與式

平町赤ちゃん大入賞者の授與式は本日午前十時から平町會議事堂で舉行、丸々太つた赤ちゃん達が笑ふもあれば泣くもある賑やかな中にニコニコの好いお爺さん振りを發揮して青沼町長が一々昨報入賞のお母さん方に知事賞と町長賞を授與、審査長酒井醫師が審査の結果を述べ、來賓祝辭に移り千葉第二校長其他が盛んにお目出度ふを連發赤チャンの前途を祝福、一等の金原正剛君のお母さんが總代で答辭を述べ、賞牌を

片濱廻り

委員が上京

平小鐵道敷設路線の片濱廻り陳情の爲め堀、關内、高橋、小松、吉田(五)各委員は七日午前五時十五分平發列車で東京すると

流線機關車

試運転良好

昨報四日平水戸間を試運転した常磐線の流線型機關車は成績がよいので来る六七の兩日普通列車を牽引して再試験を行ひこれにパスすれば愈々八日頃から急行用として常磐線のスピードアップに一層の威力を見せると

女學校の

校長會

提出協議議題

既報縣下女子中等學校校長會は来る十一、十二の兩日磐女講堂に於て開かれるが各校より提出された當日の協議議題及談話題は左の如くである

- △協議議題
 - 一、昭和十二年度豫算編成に關する件及縣體育大會實施に關する件(福女)
 - 一、豫算下調に關する件(相女)
 - 一、體育手簿を共同印刷するの可否如何(白女)
 - 一、女子中等學校體育大會に就て(喜女)
 - 一、實業科設定の件及十二年度縣體育大會に關する件(磐女)
- △談話題
 - 一、英語の隨意科とした

事に伴ふ件 一、國語科副讀本取扱に關する件 一、昨年度發行の校友會誌につき發行回数、校友會數、單價、頁數、發行所等承りたし、一、全國高等女學校校長會議並に隨伴する件及中等學校衛生研究視察に關する件(以上相女) 一、英語を隨意科とせる感相等を承りたし(福女、會女) 一、第三四學年の英語に對する裁縫家事の教材及成績の取につき承りたし(白女、安女) 一、教授細目の様式に關する件(安女) 一、課外指導の状況承りたし(會女) 一、第一、二年學生徒修學旅行につき承りたし(福女) 一、制服の型及代價につき承りたし(白女)

警中運動會の

繼走選手

第一校決定

平第一小學校は来る十日の警中陸上運動會當日催される郡下小學校兒童八百米リレーの出場選手を今五日左の如く決定した

奉安金庫

學校へ寄附

上遠野村字根岸の村議齋田虎次郎、區長永瀨鶴吉の兩氏は双葉郡新山校の御眞影不敬事に鑑み五百圓を投じ上遠野校に鐵製奉安金庫を寄附したが此程完成したので去る一日有志百五十名を招き奉納式を行つた

縣視學の視察

新任の村田縣視學は昨日來郡赤井、小川の兩學校を視察したが今明の二日間は四倉方面の小學校を視察、七日は平第一小學校講堂に開かれる郡内小學校校長會に臨席する

小學生の

團體來平

須賀川第一校 旅行シーズンに入つたので小學生の團體が最近連日の様に平驛を通過するが明日は須賀川第一校生二百名及び郡山校の百六十名が平

蘭の共同出荷

獎勵金を交附

一貫匁に二錢と

運搬賃半額補助

石城販利組合は四倉に建設した菜種工場に資金を注ぎ込む關係から例年蘭の共同出荷組合に支給して居た出荷獎勵金を昨年度は中止したが本年は組合資金も順調なので此程協議の結果出荷蘭一貫匁に付二錢の獎勵金と汽車自動車運搬賃半額の補助金を交附して大いに共同出荷を獎勵すると

骸骨に異常

變死体の身許

既報箕輪村大字大利字篠登城農大和田嘉男氏所有畑地内の變死体の身元はその後取調べの結果、植田町字月山下居住茨城縣那珂郡八里村住元昭和人絹錦工場職

の何れも増であつた

末日締切で従業員から募集中であるが賞金左の如くである

第三校の行事

既報

- 平第三小學校は昨日職員會を開いた結果五月中の主なる行事を左の如く決定した
- 七日郡下小學校校長會 八
- 日農繁期補習講習會 十
- 一日教育座談會 十四
- 十五日回虫驅除 十八日
- 研究教授 二十三日父兄懇談會

神谷果樹打合

神谷村上片寄果樹組合は七日午前十時から組合員大泉氏方で總會を開き事業の打合せをする

平驛精神作興

平驛は従業員に精神作興の爲め来る十一日午後一時から鐵道俱樂部樓上で講師鐵道道友會の工藤義兼氏を招き講演會を開くと

防虫藥劑製法

神谷農試分場は本月二十一日午前九時から農事特別講習會を開くが郡山本場の奥山技手の病害虫防除法と藥劑調製法に就いての講演がある

遞信歌を募集

仙臺遞信局では局員の抱負理想を表現した遞信局歌を六月

紹介成績好率

平職業紹介所四月中の紹介成績は求職者九十四名中六十四名の就職者あり相當の好率を見せてゐるが求人男三

平町人事

△田町五松崎正明氏長男正三さん
△田町五松崎勝男氏(二八)山形縣南都留郡道志村三四佐藤京子さん(二四)

平職業紹介所報告

△一等共同作五十圓 個人作三十圓 △二等共同作三十圓 個人作二十圓 △佳作十圓

吉田眼科醫院

平紺屋町 電話六八番

醫學士 吉田久雄

△東京市葛飾區本原町二〇新倉實氏(二九)出町一八清水ツル子さん(二七)

背後から抜打ち

首をころり

日本刀を揮ひ逃ぐる

實兄の妻を追て兇行

四日夜九時半頃小名濱町大字定西高山無職齋藤昌治(三九)は自宅で實兄製氷會社職工昌幸妻タケヨ(三三)と爭論戸外に出たタケヨの後を追つて自宅前道路で矢庭に又渡り二尺三寸餘の鋭利な日本刀を揮つてタケヨの背後から抜き打ちに落せかけて咽喉筋から首を斬り落し即死させた

鮮血飛散し

物凄しい現場

首無し屍体轉る

加害者は直ちに自首

加害者齋藤昌治は同十時半血のしたる日本刀を掲げて蒼白な物凄顔で斯くと同町警部補派出所に自首して出た、急報に接した平署からは齋藤司法主任、安藤係らしく目下取調中

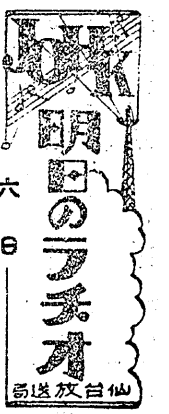
就寢中突然

此の慘劇

受け止めた右手

指三本斬落さる

別項一小名濱町に昨夜突發した血の慘劇に就いては本五日平署より齋藤司法主任外係官が出張、同町警部補



明日の天気
今夜は北東の風曇り後小雨明日は北南の風曇後晴

今晩の部

後六〇〇 童話劇「端午節句」東京コドモグループ
後六二五 講演「朝鮮に於ける心田開發運動に就て」渡邊豊日子
後七三〇 講演「兒童愛護の神に就て」穂積重遠
後七五〇 講演「東北地方と兒童愛護週間に就て」水谷秀雄
後八〇〇 ラヂオ風景
二題「五月幟」三好樂子他
「端午の節句」東實劇團
後九〇〇 五ラヂオ聯曲
「月雪」花田村の實他(新潟縣加治川堤及船中より中継)
後九三〇 時報
明日の話題 氣象通報 番組豫告

犯人血に笑ふ

月光に照らし出された

一中の地獄圖

驚愕の末ださめきらぬ家人はおどろいて語る——昨夜八時半頃一同就寢しました「ギャー」と云ふ聲に驚いて眼を覚めて見るとタケヨ姉さんが表の道路路に向かつて逃げて行く背後から返り血を浴びた昌治兄さんがトラモ恐い顔で無言のまま長いものを揮つて追ひかけ、はつと思つた瞬間には

兇器は傳來の銘刀

役場附近に隠匿押収さる

凶行に使用した日本刀は慘劇の家齋藤家が舊泉藩士である關係上祖先傳來の白鞘の銘刀であるが凶行の直後

明日の部

前五、四〇 小鳥の朝
治神宮御苑より中継
前六、三〇 英語講座 佐竹直重
前七、一〇 朝の修養「觀無量壽經」(終)藤秀翠(廣島)
前九、〇〇 家庭メモ
前一〇、三〇 家庭講座
「醫者の來るまで」橋本寛敏
後〇、〇五 説教節「辨慶安宅の關」若松若大夫
後二、〇〇 家庭講座「季節の野菜や果物の場詰貯藏」井舟静水
後二、四〇 小學生高等科の時間「理科劇」大阪科學童話劇協會
後三、一〇 教師の時間
讀本朗讀 神保格
後六、〇〇 童謡と唱歌
福島縣伊達郡川俣校兒童
後六、廿五 基礎英語講座
鹽谷榮
後七、三〇 講演「東北と放送事業」佐々慎
後八、〇〇 吹奏樂と軍歌
陸軍戸山學校軍樂隊
後八、二五 俚謡「神能比山うた」今野豊藏他
後八、五〇 浪花節「吹雪の召集令」末廣友若

間男殺し

九日に公判

去る二日豫審終決有罪と決定平支部の公判に廻附された東京市向島區隅田町生れ錦村大字八倉字四反田三五居住鐵筋工今野安藏(三三)が昭和入緝大火の際妻の情夫

頭を割つて

坑夫二名慘死

釣瓶落しのトロに衝突

内郷村警城炭礦住吉坑で昨日午後五時半頃電捲器の線が外れた爲空炭車三臺が釣瓶落しに逆行し五百七十尺下で作業中の坑夫相馬郡山上村生れ神保善作(三三)岩瀬郡大屋村生れ和田八郎(三五)の兩名は炭車に刎ね飛され頭蓋骨を割つて即死した

看護婦急派

求めに應じます

平町南町
看護婦急派
求めに應じます
平町南町
看護婦急派
電話三〇七

夏井青年總會 夏井村青年團は来る八日午後一

繞る解瓦解の設人

(海軍上校) 悟道軒圓玉(作) 丸尾至陽(書)



一 二 小倉庵の會合

青木彌太郎は小笠原の隠居單齋の訓戒を聞いて大いに失望した、外國の軍艦に斬り込み日本武士のたましひを見せて斬り死をするといつたならば定めし其方は忠臣である、勇士であるとはめられると思ひの外、それは馬鹿者のすることだといふ、と今の時勢を説かれ且又金の爲めに集まつた浪士が物の役に立つかといはれた、青木も一時は腹も立つたが隠居のいふことは道理です、そこですごととこ、をさがつて來るとお妾の時鳥が



時「御隠居にお會ひになりましたか」

と問うた

彌「ハイ、あなたのおとりなしでお目通りをいたし御意見を承りました御隠居様の仰せられる通り吾々共只今までの行爲は甚だよろしくない、又これから大事を擧げむといたしたことも御隠居様の御説によると大いなる心ちがひ、何卒御隠居様へよろしく御披露ください、仰せに依つて必ず無謀なることはいたしませんと申し上げていたくさい」

時「ハイ承知いたしましたついで御隠居様は大きな聲をなされたこともございままも、あなたのお申し上げたことがお氣にさしたるものか御立腹おそばしたやうに思はれましたが」

りますまい、御いん居様は御高齡のことゝて一層御いとひ遊ばして幾百年も御長壽を保たれるやうお祈り申して居ります」
といつたが彌太郎もホロリと涙をながした、時鳥はこれを見て氣の毒におもひ酒肴を出して待遇したが、青木は心を取なほし世上の雑談をいたし別れをつけて小笠原の屋敷を出た。そこは教育ある人物とてだん／＼考へて見ると鳥合の集まり勢で外國人を打拂ふなどは無理なことだ、今では心がみだれてゐたからこ

それに小倉庵は主人を長次郎といひ青木のために働いたもの、こゝは料理店です座敷を三間打ち抜いてこの人たちをあつめまづ薄茶を出して待遇す、一同は顔と顔を合した、酒を飲ませるかと思つたが薄茶、そのあとで汁粉が來た、小倉庵は汁粉を買いかたはら料理店
○「オイ、お茶で汁粉のもてなしは不思議だな、こゝにゐる者に下戸はすくない小倉庵の汁粉の風味は江戸一だといふが、それは下戸のいふことでわれ／＼に汁粉は有難くない」
△「何ぞこれには仔細があるな、といふは何時になく青木殿がまじめであるよ」
○「さうだ、青木殿今日われ／＼をこれへ招かれたは汁粉を馳走する爲ではござるまい、これには何ぞ仔細のあること存する」といはれて彌太郎が

彌「イヤお怒りなされたことではござりませんが、手前の不心得について御意見をなされたがまことに有難いこととござります、只心にかゝりますは面會いたすも今日限り以後當家に參るなど仰せられました、かゝる御いん居様の御不興を蒙りますもみな手前の不調法より出でたこと、永らく御厚情をいたさしました

の事は成就すると思つたが單齋に依つてはじめて時勢を知り、とてもそんなことはいふべくして行はれぬとさとり、同志の岡田盟又津田幸次郎など申す者にてこの事を話して一時同志を解散することにした、放逐するといへば角が立つから解散をする。そこで本所小梅の小倉庵に主立ちし者九十餘名を呼びよせた、この中には八百松も入つてゐた。

彌「今日はまじめな御話をいたさねばならぬ、そこで酒を廢して薄茶を献じ、茶は氣分をさはやかにいたしたがつてねむりをさます今までわれ／＼の心は狂つて居つた、また時勢を見ることながらぬ故目はあいて居るが心は眠つてゐた、それらをさやかにするため薄茶にて御相談いたす」

○「それはどんなことでござるか御説を承はらう」と膝をすくめた。

宗正らひた

山崎合名會社 電話一〇番

糸イラズ

此の間マスキンの實演を御覽になつて大体は皆様糸イラズの便利經濟なる事がおわかりになりましたせう、御用の御方は左記販賣店にありましますから何卒御便宜の所で御求め下さい。

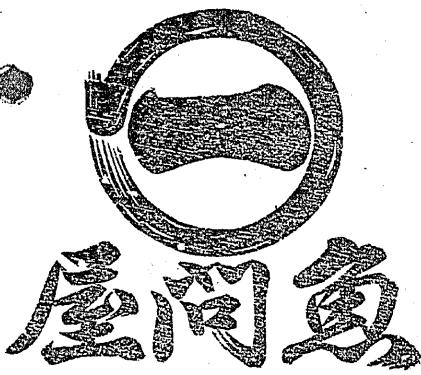
糸イラズ代理店 阿康藥局

- 平町田部 藥舖
- 平町一丁目 藥局
- 平町水野 藥局
- 平町鎌田 商店
- 好間村稻荷下 商店
- 阿康藥局支店
- 平町材木町 商店
- 平町新川 商店
- 平町清水 藥舖
- 平町仲間町 商店
- 好間村元山 商店
- 振替口座 東京三〇六五
- 電話 四四四番



玉屋洋品店 平町田部通電話六五六番

干やなぎ 味美 鯉鹽から 當店特製 鯉節



魚問屋 志賀盛 二 (番三一話電) 目丁四町平